

文化財の保護事業等への寄付を実施 ～京都市、京都市景観・まちづくりセンター、京都伝統産業交流センターへ支援～

公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金（所在地：京都市右京区、理事長：松下芳弘、以下 当基金）は、京都市の文化財保護に協力するため、京都市へ250万円、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター（以下 京都市景観・まちづくりセンター）へ50万円を寄付しました。1月20日に京都市役所（京都市中京区）にて寄付受納式が執り行われ、当基金理事長の松下より松井孝治京都市長、北川洋一京都市景観・まちづくりセンター専務理事へ寄付金の目録を贈呈しました。



寄付受納式



無鄰庵庭園



京町家（昭和小路 ココナガヤ）

寄付金の内訳

1. 市指定・登録文化財の修理 100万円
2. 「国名勝 無鄰庵庭園」もみじ林の補植 150万円
3. 京町家の保全・継承に係る改修助成 50万円

この寄付は、2018年2月に京都市、京都市景観・まちづくりセンターと締結した文化財保護事業等の実施に関する三者連携協定に基づくもので、今回で9回目となります。

無鄰庵庭園は施主である山縣有朋の指示に基づき、近代日本庭園の先駆者とされる作庭家・庭師七代目小川治兵衛により作庭され、国の名勝に指定されています。近年の猛暑の影響で庭園のもみじ林が衰弱し、枯死が増加して景観が変容しています。今回の寄付金は、庭園の重要な構成要素であるもみじ林の景観を取り戻すため、土壌調査のうえ土壌改良を行い、もみじの補植・育成を進める取り組みに活用されます。

また、京都の伝統産業に関わる技術の継承と未来の担い手育成への取り組みを支援するため、公益財団法人京都伝統産業交流センター（以下 京都伝統産業交流センター）へ50万円の寄付を行いました。

この寄付は、2023年11月に京都市、京都伝統産業交流センターと締結した文化財の保存修復等を通じた京都の伝統産業支援等に関する連携協定に基づくもので、今回で3回目となります。



唐紙摺り体験



螺鈿の研ぎ出し

同センターでは子供たちを対象とした伝統工芸体験を実施しており、2024年度は神社仏閣や茶室などの襖に使われる「唐紙」や、京仏具などに欠かせない「漆塗り」とその美しさを際立たせる「螺鈿」の体験会が開催されました。2025年度は「京たたみ」「京漆器」の解説や体験会が3月に開催予定で、会の運営や若手技術者の育成に寄付金が活用されます。

当基金は、これからも京都の文化財保護活動に協力していきます。

以上

[本件に関するお問い合わせ]

公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金 事務局

E-mail : sczaidan@nissin.co.jp